



平成 15 年 5 月 9 日

各 位

会 社 名 アイサンテクノロジー株式会社  
代表者名 代表取締役社長 柳澤 哲二  
( 登録銘柄 コード番号 4 6 6 7 )  
問い合わせ先 執行役員管理部長 神野 照朗  
電 話 番 号 052-950-7500

### 当社株式の時価総額について

当社株式は、平成 15 年 4 月において、時価総額が 5 億円未満となりましたので、今後の見通し等につきましてお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 当社株式の時価総額について

当社株式(当社発行の登録銘柄、以下同じ)に係る平成 15 年 4 月月間平均株価および月末株価に基づく時価総額を算定した結果、いずれも日本証券業協会が定める登録維持基準を下回る事となりました。「店頭売買有価証券の登録等に関する規則」(公正慣習規則第 1 号)第 11 号第 2 項第 9 号では、9 ヶ月以内(事業の現状、今後の展開、事業計画の改善その他日本証券業協会が必要と認める事項を記載した書面を 3 ヶ月以内に提出しない場合にあつては、3 ヶ月以内)に、毎月の月間平均時価総額および月末時価総額が 5 億円以上にならないときは、登録取消しになる旨規定されております。

なお、当社は、本日、上記に規定されている事業の現状、今後の展開及び事業計画の改善等を記載した書面を日本証券業協会に提出いたしました。

#### (ご参考)

当社株式平成 15 年 4 月末日直近現在の時価総額

4 月末日直近の最終価格 115 円 × 4 月末登録株式数 3,999,600 株  
= 月末時価総額 459,954,000 円

当社株式平成 15 年 4 月月間平均時価総額 441,098,743 円

## 2. 事業の現状

当社の主たる販売市場とする測量、土木・建設業界においては、公共工事の削減や民間設備投資の回復も平成 14 年度に引き続き期待できない状況にあり、今後も同様の状況が続くものと考えられ、いずれの業界も低迷を余儀なくされると予想されます。

このような厳しい経営環境のなかで当社は、創業以来一貫して「より正確な位置を求める解析技術」の確立を目指してソフトウェア開発を進めてまいりました。平成 14 年度新測量法施行にともない、従来にもましてより高い精度の測量技術ならびに解析技術が求められることとなり、当社が長年にわたって培ってまいりました「より正確な位置を求める解析技術」を既存販売市場に普及させる絶好の機会として捉えるとともに、当社の持つ技術を様々な分野に生かすべく事業展開を積極的に進めてまいります。

## 3. 今後の展開および事業計画の改善

### (1) 測量部門

当部門においては、測地・測量 CAD ソフトウェア製品「WingNeo」のさらなる熟成を目指した機能改訂を進め、平成 14 年度新測量法施行に対応した業務支援オプションソフトの拡販を今後とも進めるとともに、新測量法施行に係るセミナーを全国各地で継続して開催し、ユーザー業務への支援を行ってまいります。また、当社製品ユーザーへのサポート体制においても、従来以上の充実した体制のもと、当社製品ユーザーの満足度を高めるための体制を整備し、質の向上を目指してまいります。

### (2) 土木・建設部門

当部門においては、国土交通省が積極的に推進する建設 CALS-EC に対応する電子納品対応ソフトウェア製品「CVL Manager M@TE」シリーズのさらなる拡販を進めることを基本方針とし、同製品の持つ機能をさらに強化した製品を投入し、土木・建設市場への積極的な営業展開を進めてまいります。

### (3) 新規事業部門

当部門においては、当社が長年にわたって培ってまいりました「より正確な位置を求める解析技術」を、新しく携帯電話を含めた Web 市場に投入することにより新たな収益の柱として育てるため、協業を含めた事業展開を進めてまいります。

## 4. その他

前述した各部門の事業展開を進めるため、ソフトウェア開発メーカーとして最大の経営資源である人的財産を今後とも積極的に採用し、販売効率の追求を目指し、間接コストのさらなる見直しを進め、効率経営を進めてまいります。また、当社ホームページでの投資家向け情報をより充実した内容とするとともに、新たに季刊誌を年 4 回発行し、当社が取り組むソフトウェア開発の紹介、当社経営情報、関連業界情報等を発信して、当社の知名度を高めるための IR 活動を実施します。

以上により、当社株式時価総額が 5 億円以上へと回復し、市場より当社事業展開に対して評価をいただくことにより、今後とも登録を維持してまいりたいと考えております。

以上